

三股町
営繕工事における週休 2 日促進工事
試行要領

【発注者指定方式・月単位】

三股町 都市整備課

令和 7 年 4 月

三股町営繕工事における週休2日促進工事試行要領

1. 目的

この要領は、三股町が発注する営繕工事における週休2日の取組において、対象工事、実施方式、労務費の補正その他試行に関する基本的な事項を定めることにより、実務的な視点から課題を洗い出し、もって、建設業全体で週休2日を促進することを目的とする。

2. 対象工事 令和8年度 多目的スポーツセンター空調機設置工事

3. 実施方法

本工事は、発注者が週休2日に取り組むことを指定する週休2日促進工事（発注者指定方式・月単位）である。

4. 用語の定義

この要領において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

（1）週休2日

- ① 月単位の週休2日とは、対象期間において、全ての月で4週8休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。
- ② 通期の週休2日とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。

（2）週休2日促進工事

週休2日の取組を行う工事をいう。

（3）対象期間

工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外とした内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

（4）現場閉所

巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場が閉所された状態をいう。

（5）現場休息

分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。

（6）4週8休以上

- ① 月単位の4週8休以上とは、対象期間内の全ての月ごとに現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所（現場休息）率」という。）が28.5パーセント（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、歴上の土曜日・日曜日の日数の割合が28.5パーセントに満たない月においては、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っている状態をいう。な

お、現場閉所日（現場休息日）を原則として土曜日・日曜日としない場合においては、上記の「土曜日・日曜日」を受発注者間の協議により変更できるものとする。

- ② 通期の4週8休以上とは、対象期間内の現場閉所（現場休息）率が28.5パーセント（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。なお、現場休息率の算出において、現場休息日数には現場閉所日数を含む、また、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日や猛暑による作業不能日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

5. 工事費等の積算及び変更方法

月単位の4週8休以上を前提に、以下のアにより労務費を補正し工事費を積算して予定価格を作成する。

現場閉所（現場休息）の達成状況を確認し、月単位の4週8休に満たない場合、は以下のイに変更し、通期の4週8休以上に満たない場合は、補正係数を除し、三股町工事請負契約約款第24条の規定に基づき、請負代金額を減額変更する。

ア 月単位の4週8休以上

（現場閉所（現場休息）率28.5%（8日/28日）以上）

1. 0.4

イ 通期の4週8休以上

1. 0.2

6. 試行実施に当たっての留意事項

（1）適切な工期の確保

発注者は、公共建築工事における工期設定の基本的考え方等に基づき、余裕期間制度の活用に努めるとともに、全体工期に影響がないよう設備工事、内装工事等の十分な施工期間を確保するなど、適切な工期を設定すること。

（2）実施工程表の作成

受注者は、週休2日に取り組むに当たっては、工事着手から完成までの実施工程表（以下「工程表」という。）を作成し、工事請負契約後14日以内（三股町の休日定める条例第2条に規定する町の休日を含む。）に監督員に提出すること。なお、工程表には、工事着手日、現場閉所（現場休息）日及び完成予定日を時系列で明示すること。

（3）対象期間の確認・設定

監督員は、受注者から提出を受けた工程表により、週休2日が確保されていることを確認すること。なお、一つの工事現場において、設備、内装等の複数の工事が重複する場合（分離で工事を発注した場合を含む。）など、全体工程に遅延が生じる恐れがある場合は、それぞれ十分な施工期間を確保するとともに、工場製作のみを実施した期間を対象期間から除外するなど、受注者と協議して、あらかじめ適切な「対象期間」を設定すること。また、工事の一時中止等、工事着手後に「対象外としている内容に該当する期間」を変更する必要がある場合は、その都度、受注者と協議し、適切な「対象期間」に設定し直すこと。

(4) 緊急時の対応等

受注者が現場閉所日と定めた日において、以下の項目に掲げる作業が発生した場合は、現場閉所日として扱うものとする。

- ア 災害等の緊急時に発注者が作業を要請した場合
- イ 異常気象時等における安全パトロールの実施や、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合
- ウ 現場見学会等、現場を公開する場合
- エ その他必要と認められる場合

(5) 現場閉所（現場休息）状況の確認等

監督員は、受注者から提出を受けた工程表により、定期的に現場閉所（現場休息）日数を確認すること。なお、確認に当たっては、新たな書類作成等により受注者の事務負担が増大しないよう留意し、工事打合簿等の既存資料の活用に努めるとともに、現場閉所（現場休息）前日の指示等を控えるなど、現場閉所（現場休息）中の作業が発生することがないように配慮すること。

(6) 週休2日促進工事の見える化

受注者は、週休2日促進工事である旨を工事看板等に明示すること。

○工事標示板作成例

ご迷惑をおかけします
週休2日促進工事
○○○○○建設主体工事
○○年○○月○○日から ○○年○○月○○日まで
発注者 三股町 教育課 スポーツ振興係 電話 0986-52-9312
受注者 ○○○○建設株式会社 電話 0000-00-0000